

人模様

がん患者らの不安に耳傾け 笹子三津留さん、妻真由子さん

毎日新聞 2016年8月22日 東京夕刊



笹子三津留・兵庫医大特任教授（右）と妻真由子さん

胃がん手術の世界的権威として知られる笹子三津留・兵庫医大特任教授（66）と妻真由子さん（40）が、5月から御影神愛キリスト教会（神戸市東灘区）で、がん患者や家族・遺族の不安や悩みに耳を傾ける無料のがん哲学外来と「メディカルカフェ」を開いている。

笹子さんは国立がん研究センター中央病院（東京都）に20年間勤めた後、今年3月まで同大で主任教授。真由子さんも同病院で10年間看護師だった。長年、患者の心の問題に向き合いたいと思いながら、外科の臨床現場ではその

時間を作るのが難しかったという笹子さん。昨年、樋野興夫・順天堂大教授が提唱するがん哲学外来の試みを知り、「これこそやってみたかったこと」と開設を思い立った。

複数の参加者と語り合う「カフェ」と、一対一で対話する「外来」。多くの患者と関わってきた経験を基に「こう考えたらどうか」と時に助言もするが、「結局、その方の人生経験や病気との向き合い方など、私たちが教えていただくことの方が多いですね」。【須田桃子】